

- 1面：自衛隊70周年記念観閲式
- 2面：自衛隊70周年記念観閲式（1普通）
中隊訓練機関（32普通）
- 3面：緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（34普通）
自衛隊70周年記念観閲式（1後支連）
- 4面：#2師団演習（1高大）#3大隊機関（1高大）
ふれあいコンサート（1普）夜間ホイス訓練（1飛）
- 5面：自衛隊70周年記念観閲式（1偵戦大・1師付）
レンジャー訓練（1高大）遺骨収集事業（1特防）



令和6年12月25日 第28号

師団長統率方針「使命を果たす」
師団長要望事項「信頼」「安全」

陸上自衛隊第1師団広報紙

発行：第1師団司令部総務課広報班
行：第1師団懇話会
所：東京都練馬区北町4-1-1
電話：03-3933-1161（内線2150～2157）
専用線：8-31-2156

防衛省・自衛隊70周年記念観閲式



巡邏（部隊の威容を示す）



観閲行進（威風堂々の行進）



ドリルマーチ（統制された迫力ある演奏と行進）



特別儀礼（統制美で来場者等を魅了）

「信頼」される威容を誇示

一糸乱れぬ威風堂々の雄姿

師団は11月9日、朝霞訓練場において挙行された防衛省・自衛隊70周年記念観閲式に参列部隊及び行進部隊として参加した。
観閲式では右破茂内閣総理大臣を総開官として迎え、執行者である陸上総隊司令官の下、観閲部隊指揮官として第1師団長が満を持して式典に臨んだ。（関連の③④⑤⑥面）

観閲式は訓示において「自衛隊は国民にとっての最後の拠り所です。だから、日本国におけるありとあらゆる組織の中で、最も規律厳正であり、最もお互いに対する思いやりがあり、そして自衛隊及びあらゆる組織の士気向上に貢献する組織であるべき」と述べ、その威容を誇示した。

への対応能力の保持を内外問わず、厳格な訓練による成果を、観閲式に集結させ、その威容を誇示した。式典においても第1師団長・島根 誠司師団長を基軸に、師団長以下、人員約600人、車両約50両により力強い自衛隊及びあらゆる組織の士気向上に貢献する組織であるべき」と述べ、その威容を誇示した。

繋ぐ成功への思い 観閲式を支える隊員



らっぱ隊経験者による熱意ある指導（1師付）

師団は観閲式参列部隊及び行進部隊に対する指導を担任した。10月23日に編成を完了し、観閲式本番を迎えるまでの間、雨の日も時季外れの暑さにも負けず参列部隊の指導に当たった。準備訓練では各部隊の上級幹部が核心となり、若年隊員のモチベーションを維持しつつ、厳格な統制美を追求するため熱く情熱に満ちた指導を行った。また各部隊に先立ち、1師団長は10月初旬から観閲式、観閲式、来賓席等の構築及び紅白幕、各



椅子の並びも1mm単位で統制を図る（1施大）



名誉と誇りにかけて観閲部隊等を指導（1師司）

曹が核心となり、若年隊員のモチベーションを維持しつつ、厳格な統制美を追求するため熱く情熱に満ちた指導を行った。また各部隊に先立ち、1師団長は10月初旬から観閲式、観閲式、来賓席等の構築及び紅白幕、各

席への椅子の設置等、現場のニーズに最大限に応え、観閲式の基盤を確実にした。さらにはアナウンス支援など前哨から多くの隊員が一丸となり観閲式成功の思いをもって支えあう力を発揮し、観閲式成功の原動力となった。



1mmのずれも見逃さない飽くなき追求（1普通）

ご視聴はこちら

防衛省・自衛隊 公式動画チャンネル

陸上自衛隊 広報チャンネル

1普連

令和6年度観閲式任務完遂

唯一の徒歩行進部隊としての誇りを胸に

第1普通科連隊は11月9日、朝霞訓練場において開催された令和6年度自衛隊記念日観閲式に師団らっぱ隊、観閲部隊、特別儀仗隊の要員として参加した。

爽やかな秋晴れのもと6年ぶりに実施された本行事は、防衛省公式YouTubeでライブ発信された。

観閲部隊として唯一の徒歩行進部隊として、9月に配置されたばかりの新隊員も含め、熟練の指揮部による徹底した指導のもと、段階的に練成を重ね本番を迎えた。

本番では台破内閣総理大臣が観閲されるなか、練成の成果を遺憾なく発揮して部隊の威容を示した。また師団らっぱ隊と

とで大きな力とすることができた。本行事に参加した隊員は「本番を終えて感無量です。練成を重ねるにつれて基本動作の精度も上がり、自信になっていきまし

た。初めて参加した観閲式でしたが、堂々と動作を行えたことはとてもいい経験になった」と語った。

観閲式を通じ心身ともにタフになった隊員とともに連隊としてさらに精進をしていく。

第32普通科連隊は9月23日から27日までの間、東京土浦習場の市街地訓練において第5次連隊練成訓練（第3次中隊訓練）を実施した。

な作戦遂行能力の向上を図るとともに、現在の各中隊の練度を評価・判定し、その進歩・向上を促すことを目的として「住民混在下における武装工

作員の捜索・撃滅」を課題として、第4中隊、第5中隊及び重迫撃砲中隊の検閲を行った。

重迫撃砲中隊は状況検閲訓練日である捜索、包囲網の形成及び検閲を実施した。第4中隊は重迫撃砲中隊や協同部隊である16式機動戦闘車（MCV）の掩護を受けつつ、市街地訓練場に潜伏する武装工

作員の捜索・撃滅を行った。第5中隊は激しく抵抗を続ける武装工

作員が立て籠もる建物に

対して、ヘリコプターと

連携した空路、地上及び

地下の三方向から果敢に

突入し、武装工員を拘束するとともに住民を後

送し、状況終結となった。

本訓練検閲の連隊長要

望事項である「戦闘力の組織化」「探知活動の強

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

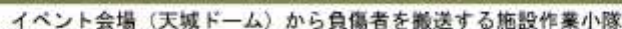
化」及び「安全管理」を受

要訓練部隊の全隊員が銘

肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任

務を完遂した。

第28号



各種災害発生時の行動を演練

者が多数発生したとの想定で行われ、現場周辺に簡易除染所を開設するとともに、有毒化学剤で汚染された負傷者を各関係機関が開設した除染所に搬送する一連の行動を実施した。

連隊は今回得た教訓と今後検討すべき事項について認識を共有するとともに、関係機関との連携強化を図っていく。

隊の隊員が訪
参列する中
で行われ、
連隊長が訪
衛大臣から
の永年勤続
者表彰状を
代読して受
賞者各人に
賞状を手渡
した。

(写真)

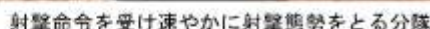
式終了後
に場所を移

連隊は11月6日に勲
統25年を迎えた隊員11
人に対して永年勤続者表
彰伝達式を実施した。
式は板妻駐屯地訓練場
を祈念した。

実弾射撃により円滑な訓練の実施に寄与

連隊は1月2日、北富士演習場において師団が実施した、令和6年度第2回龍田観測者集合訓練における実弾射撃の観測訓練を支援した。

本訓練は師団の射撃観測委員に対し、観測者として必要な知識及び技能を習得させることを



射撃を実施した。

中隊は観測者の射撃要求、射弾の判定及び射撃の修正に対し、射撃準備から射撃までの一連の行動を速やかに実施して射撃し円滑な訓練の実施に寄与した。

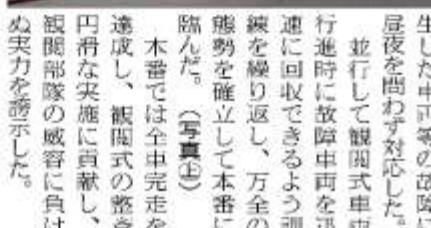
また今年度予定される師団重迫撃砲射撃競技会に向けた120mm迫撃砲の射撃練度の向上を図ることができた。

凛として後方支援部隊の威容とその実力を示す

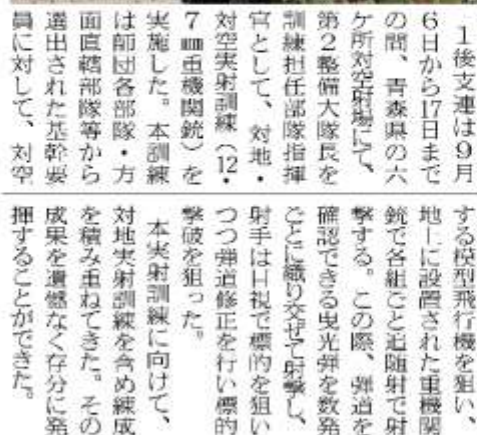


第1後方支援部隊は1月9日、朝霞訓練場において舉行された令和6年度自衛隊記念音楽節式に、後方支援部隊として参列するとともに、需品科部隊として車両行進に補給隊から浄水セツト一面が音楽隊とらっぱ隊との合同演奏では節団らっぱ要員として選抜された隊員が、また特別要員とらっぱ隊にも隊員が参加し、端として威容を示した。

さらには観閲式に先駆
け準備訓練が始まる10月
21日から11月9日までの
間、補給整備・回収隊と
して朝霞訓練場に整備活
を開設して、訓練時に登



対空射撃は上空を飛行する敵機を撃つことが目的で、連携要領の修得を目的として行われた。



1 後支連は9月6日から17日までの間、青森県の六ヶ所対空射撃場にて、第2整備大隊長を訓練担任部隊指揮官として、対地・対空実射訓練（12・7mm重機関銃）を実施した。本訓練は師団各部隊・方面直轄部隊等から選出された基幹要員に対して、対空

する模型飛行機を狙い地上に設置された重機関銃で各組ごと近距離射撃する。この際、弾道を確認できる曳光弾を数発ごとに織り交ぜて射撃し、射手は目視で標的を狙いつつ弾道修正を行い標的撃破を狙った。

本実射訓練に向けて、対地実射訓練を含め練成を積み重ねてきた。その成果を遺憾なく存分に発揮することができた。

連隊訓練検閲輸送隊・衛生隊が受閲

1 後文連は9月25日から30日までの間、東宮上御習場において輸送隊及び衛生隊に対して、令和6年度連隊訓練検閲を実施した。

第2整備大隊
小澤 七海 士長

る支援を継続的に実施した。それと並行して輸送隊及び衛生隊の部隊協同による市街地施設における警戒・白煙戦闘（写真）を実施し、支援任務を完了させた。

Q 第2整備大隊第1普通科直接支援隊で、通信整備手として勤務する小澤士長は、観開式に特別儀礼ようらっぱ隊として参加しました。その所感を紹介します。

A 大変だった事はらっぱ吹奏技術のみでなく、基本教練も特別厳しくなっていました。

Q 今後の目標は

A 今後もらっぱ手としての速さを維持できるように頑張ります。また大変貴重な経験を得ることができたので、陸曹となりたいです。



2 師団演習任務完遂 1 高大



訓練所感

第1高射特科大隊は9月24日から28日までの間、東富士演習場において第2次師団演習に参加し、首都機能の維持に必要な作戦遂行能力を向上するための、基礎となる部隊の野外行動に係る練度の向上を図った。

訓練は師団の対空作戦に係る指揮幕僚新動、現代戦の脅威下において、地上作戦・戦闘に最大限の寄与し得る部隊の基本的

の野外行動に係る練度の向上を図った。

行動及びあらゆ
ら生き残り、任
ずるための隊員
作を演練し、所
を収め第2次師
無事に終了した

行動及びあらゆ
ら生き残り、任

本部管理中隊

閔振 1 士

Q 第2次師団演習に参加しての感想は

HMGの挿体構築を始めたが、示された時間内に完成させることが出来なかった。今後は先輩方が教えてくれた効率的なエンビの使い方をマスターして、次に挿体構築をする時は率先して構築

固な掩休を構築す。

Q きつかった
日中は掩体構

動かし、夜間はさらに舞段より高さが制限され、環境の連続で、肉体的精神的にもきついきつい訓練でもするように体力向上ていきたいと思



第3次大隊訓練検閲

任務を理解し損耗の極限を図り行動せよ

第1施設大隊は9月24日から10月4日までの間、朝鮮、大宮及び占州駐屯地、東富士演習場において、令和6年度第3次大隊訓練(第2中隊、通信小隊及び交通小隊訓練(機関)として、重要防衛施設防護等及び防衛支援に任ずる中隊等の行動について訓練検閲を実施して、その様度を評価・判定した。

受閲部隊は治安山動下合下から防衛出動下合下の各種状況下において、統裁官要望事項である「任務を理解し行動せよ」「消耗の局限」を具現し、全ての任務を先達した。

本訓練には9月に新隊員後期教育を終えたばかりの隊員も参加しており、「中隊に配属され初めの検閲受閲で、緊張した先輩に教えてもらいながらでしたが、学びの多い訓練検閲でした。今回経験を活かして次の訓練では一人前の働きができるように頑張ります」と姿が垣見られた。



武装工作員による襲撃への対処



敵の接近経路上への地雷原の構成

伝統ある「音」の継承

轟け！朝霞振武太鼓



第3中隊
增田2曹

ある太鼓演奏を披露した
朝張振武太鼓リーダー
の増田2曹(3中)の所
感を紹介したい。

Q 今後の目標は？

人の入れ替わりがある中で伝統の「音」を継承していくこと。お客さんに楽しんでもらえるように朝幽振武太鼓の「音」を工夫していきたいです。

1 音
地域住民との懸け橋
40回日の節目を迎えたふれコン

4回目の館日を逃えたふたりの

第1音楽隊は9月8日に、板橋区文化会館ホールにおいて第40回ふれあいコンサートを実施した。コンサートは募集対象者及び近隣住民等の幅広い年齢層を対象に、白菊

隊に対する理解及び親
感の醸成を目的として
ゲストに第1普通科連
らった際、太鼓隊2個子
ム及び埼玉県警察音楽
を招き、2部構成で開
した。



らっぱ隊との合同演奏



太鼓隊との合同演奏

「吹奏楽の『のらブソディ』を演奏し、呟柔のうちに1部は幕を下ろした。第2部の冒頭では第1普通科連隊長が防衛講話を行った。

じ後、埼玉県警察音楽隊・カラ・ガード隊の単独演奏、続いてバリ五輪

り広げられ、40回の節目に相応しい大規模なコンサートとなった。終演後の見送りでは「大変良かった」との言葉が多数聞かれた。本コンサートの地域住民との架け橋であったことを実感した。

1 飛

夜間ホイス ト訓

緊急患者空輸に備える 繋ぐ命の鎖

第1飛行隊は11月19日に、立川駐屯地訓練場において夜間ホイス卜訓練を実施した。

この訓練は随団レンジャー
員のクルー全員での連機
想定訓練線の急患後送待
機に先んじて実施したも
のであり、実戦さながら
に視界が狭くなるなど非

に実施し本訓練に臨んだ。
訓練間、徐々に暗闇が
増し気温も低下する中、
訓練参加隊員及び安全係



操縦士をはじめ連携して患者を吊り上げる

訓練後のAARでは「夜間かつ悪天候において急患空輸が発生しても安全確実かつ迅速に後送するには」を各人が意識し、階級に関係なく問題点・改善策を案出した。待機間は実際に発動することがないことを願いつつ、高い意識を保持し、応急態勢を維持する。

に本音を吐露し真金に買
り組んだ。

射撃練度向上を図る

60mm迫撃砲実弾射撃



砲を安全に固定し射撃を行う

1偵戦人は11月20日から21日までの間、北富士演習場において戦闘中隊が装備する60mm迫撃砲の実弾射撃訓練を実施し、射撃練度の向上を図った。60mm迫撃砲は砲手が砲身を手で保持し、弾薬手が砲後方から目標を見通すことにより照準して射撃する特性から、砲手及び弾薬手の連携が重要である。そのため実弾射撃訓練に臨んだ。

大隊は今後もさらなる射撃練度の向上を図り、部隊精進のために引き続き練成に励んでいく。



天山慰霊碑を慰霊する隊員

地下境内の搜索を実施する隊員

参加した中隊3曹は「陸上自衛隊の代表として遺骨収集団を最大限支援し、1村でも多くの収容に繋げ、本土還送を果たされるように全力で支援します」と熱い思いを語った。



大野3曹(写真⑤)



機甲科部隊を指揮する佐藤2佐



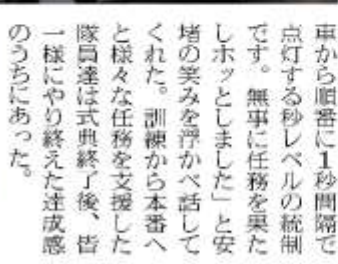
特別儀ようらっぱ隊に参加する石原3曹(右)

訓練に臨むにあたっては射撃予習の反復訓練を急に実施し、実弾射撃訓練の万全な態勢を整えた。本訓練に参加した砲手2人は、ともに初めて砲手として実弾射撃訓練に参加することもあり、過度な緊張感を持って実弾射撃に臨んだ。

射撃訓練後に砲手の大野1士は「部隊に配置され初めての射撃で砲手が務まるか不安ではあったが、先輩の指導を受け射撃予習など反復訓練したことで無事任務を達成することができた」と話した。

大隊は今後もさらなる射撃練度の向上を図り、部隊精進のために引き続き練成に励んでいく。

参加した中隊3曹は「陸上自衛隊の代表として遺骨収集団を最大限支援し、1村でも多くの収容に繋げ、本土還送を果たされるように全力で支援します」と熱い思いを語った。



大野3曹(写真⑤)

1偵戦大

自衛隊記念日観閲式参加
規律厳正なる雄姿を誇示

第1偵察戦隊大隊は11月9日、朝霞訓練場で実施された防衛省・自衛隊70周年記念観閲式に参加した。大隊としては、令和3年度における新編以来初の参加となった。

参加に伴い第12偵察戦隊大隊、機甲教導連隊及び部隊訓練評価隊からの支援を受け、式典の盛況に寄与した。

本式典には観閲部隊のほか2名の隊員が、第1師団らっぱ隊及び特別儀ようらっぱ隊として参加した。西村1士からは「機甲科職種の代表の一員として、威容を示すことができた」と口をのぞかせ、らっぱ隊で参加した石原3曹は「節度ある動作でらっぱ吹奏を無事にやり遂げることができた」と達成感溢れる笑顔で話してくれた。



障害通過訓練の様子



第1中隊長から激励品の贈呈



10マイル走で旅手として仲間を鼓舞するR高橋

1通大

「初志貫徹」自らの限界に挑戦
過酷なレンジャー訓練に挑む

第1通信大隊第1中隊は、9月13日、科連隊部隊集合教育「レンジャー」に大隊から唯

一参加している。教育はすでに第7週目に到達し、想定訓練を目前に身体と精神を鍛え上げる極限の訓練が続く。

第1中隊長の後藤1尉は「想定訓練に万全な態勢で挑んでもらうため、高橋士長に激励の品と中隊自らの限界に挑戦する」

一参加している。教育はすでに第7週目に到達し、想定訓練を目前に身体と精神を鍛え上げる極限の訓練が続く。

第1中隊長の後藤1尉は「想定訓練に万全な態勢で挑んでもらうため、高橋士長に激励の品と中隊自らの限界に挑戦する」

1特防

遺骨収集帰還事業を支援
硫黄島戦没者に思いを馳せ

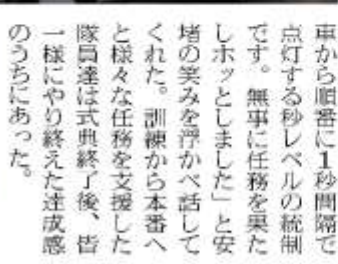
第1特殊武器防護隊は11月11日から27日までの間、硫黄島戦没者慰霊事業の支援に2人が参加し、国

家事業の整備門前を遂行に寄与した。

同隊員は遺骨収集団の遺骨搜索作業場所におけるガス検知要員として参加し、硫黄島内の滑走路

及び地下境内の遺骨搜索時に安全を確保するため、危険となる火山性ガスの有無や酸素濃度を検知器材を使用して、収集団の安全かつ整備・円滑な作業実施に大きく貢献した。

硫黄島戦死者2万1900人のうち令和5年度末までに発見・収集された遺骨の数は1万652柱で、未だに半数近くの遺骨が島内に眠ったまま本土への帰還を果たしていない。



大野3曹(写真⑤)

1師付

自衛隊記念日観閲式を支援
サポートに徹し成功へと導く

第1師団司令部付隊は、10月23日から11月9日にかけて自衛隊記念日観閲式に参加するとともに、実行本部を支援して観閲式準備訓練の整備円滑な遂行に寄与した。

観閲部隊指揮官(師団長)が乗るCCVの操縦手、師団長旗手、徒歩部隊の訓練指導、車両行進の発進統制、定期便のマイクロパスの運行等その任務は多岐に渡った。

観閲行進準備で風爽と登場する師団長・整列幕僚用のオープン車の先頭で見事な操縦技術を見せる大野3曹は「フルアクセルで時速60km、車両間隔3mを維持し、師団長の前で車面をスムーズに停車させる。それは3台のブレーキランプが先頭車から順番に1秒間隔で点灯する秒レベルの統制です。無事に任務を果たしホッとしました」と安堵の笑みを浮かべ話してくれた。訓練から本番へと様々な任務を支援した隊員達は式典終了後、皆一様にやり終えた達成感のうちにあった。

1師付

自衛隊記念日観閲式を支援
サポートに徹し成功へと導く

旗爽と観閲部隊の先頭を行進するCCV

内閣総理大臣のタミ・要員となった北條曹長は「定年前にこんな大役を拝命するとは思ってもいませんでした」と冗談交じりに話す。

徒歩行進部隊の発進統制を任された稲川2曹は「手旗の上げ下げを繰り返して腕が棒のようになっ

大野3曹(写真⑤)

